

令和4年度 第1回中能登町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和4年11月8日(火)
開会：午後1時30分 閉会：午後3時00分
- 2 開催場所 中能登町役場 総務庁舎 2階 大会議室
- 3 出席者
(構成員)
- | | |
|----------|-------|
| 中能登町長 | 宮下 為幸 |
| 教育委員会 | |
| 教育長 | 林 大智 |
| 教育長職務代理者 | 堀内 浩一 |
| 委員 | 坂本 真弓 |
| 委員 | 駒井 奈美 |
| 委員 | 成田 惟 |
- (構成員以外の出席者)
- | | |
|-----------|-------|
| 参事兼総務課長 | 高名 雅弘 |
| 参事兼土木建設課長 | 甘田 悟司 |
| 学校教育課長 | 梅澤 博 |
| 生涯学習課長 | 岩田 正 |
| 総務課担当課長 | 竹林 明美 |
| 総務課担当課長 | 清酒 秀樹 |
| 学校教育課担当課長 | 大橋 武史 |
| 学校教育課課長補佐 | 大西 健 |
| 学校教育課課長補佐 | 神保 明枝 |
| 生涯学習課課長補佐 | 北野 均 |
| 生涯学習課課長補佐 | 守山 一富 |
| 生涯学習課課長補佐 | 成田 志朗 |
| 生涯学習課主事 | 坂下 博晃 |
| 総務課課長補佐 | 木幡 嘉広 |
- (傍聴者) なし
- 4 議 題 (1) 中能登プロジェクト(コミュニティ・スクール)の取り組みについて
(2) 部活動の地域移行について
(3) 体育施設の維持管理について
- 5 報告事項 (1) GIGA スクール進捗状況について
(2) 町立小中学校におけるいじめ・不登校の現状について
(3) いしかわ百万石文化祭2023について
(4) 文化財事業の進捗について

6 議事経過

・開 会

○高名参事

ただいまから令和4年度第1回総合教育会議を開催いたします。
会議に先立ちまして、宮下町長が挨拶を申し上げます。

○宮下町長

皆さんこんにちは。

令和4年度第1回中能登町総合教育会議を開催しましたところ、教育委員の皆様には何かとご多用の中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

また日頃から中能登町の教育振興のために、ご尽力をいただいておりますことに改めてお礼を申し上げます。

さて、教育施策の方向性を明確にし、共有するための町長と教育委員会の協議調整の場として、総合教育会議が、平成27年度に設置されました。今回で6回目の開催となりますが、この後、中能登プロジェクト、コミュニティ・スクールの取り組みや部活動の地域移行について、そして、体育施設の維持管理についての議題について、皆様方からご意見をいただきながら進めて参りたいと思います。忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げます、私の挨拶といたします。本日は誠にご苦労様です。

○高名参事

ありがとうございました。

それでは、本日の会議を始めさせていただく前に、本日の会議の資料の確認をさせていただきます。(配布資料の確認を行う)

それでは次第に従いまして、会議を進めさせていただきます。中能登町総合教育会議設置要綱の第3条の規定に、会議の進行は、町長が行うとありますので、これ以降の会議の進行は、宮下町長に進めていただきます。それでは宮下町長よろしく願いいたします。

○宮下町長

それでは、会議の進行をさせていただきます。まずは本日の議件について、担当課より現状等についての説明の後、意見交換を行いたいと考えております。

まず初めに、議題1の中能登プロジェクト、コミュニティ・スクールの取り組みについて、及び議題2、部活動の地域移行については関連がありますので、続けて担当課から説明を願います。

○梅澤学教課長

学校教育課から、資料1 中能登プロジェクト事業の取り組みについて説明をいたします。座って説明させていただきます。

まず(1) コミュニティ・スクールの設置につきましては、第二次中能登町教育大綱において、中能登プロジェクト事業の推進を掲げ、地域とともにある学校へということで、令和2年度から7年度までの6年間にわたるプロジェクトを推進していきます。

(2) 設置に係るこれまでの経緯につきましては、令和2年11月に、先進地視察、かほく市で研修を行いまして、令和3年6月から教育委員会内の協議を開始し、12月の総合教育会議におきまして協議をさせていただき、今年6月から会計年度任用職員を配置していただき、同じく6月に校長会で説明をし、9月には教育委員会定例会において、モデル校の選定を議題として協議し、来年4月から鹿西小学校と中能登中学校を、コミュニティ・スクールのモデル校として進めることに決定いたしました。

(3) の今後の予定といたしましては、まず、コミュニティ・スクールについて、地域への周知を

図り理解を広げるため、リーフレットを作成し全戸配布を行ったり、ポスターを作成して公共施設や企業等に掲示したり、ケーブルテレビを活用して周知を図り、そして、保護者や区長会などへ説明をしたいと考えております。

次に、地域学校協働本部の実施体制の整備では、地域住民等の学校支援ボランティアの活動体制を整えるとともに、学校と地域をつなぐコーディネーター役の配置を行っていきます。

さらに、学校運営協議会の設置・運営に向けて、学校運営協議会の規則の制定や、委員の任命の準備を行っていききたいと考えております。

資料2をお願いいたします。部活動の地域移行について説明をいたします。

1番、部活動の地域移行について、部活動の位置付けと、意義と部活動の地域移行に関する検討会議の提言について、まず、部活動の位置付けと意義につきましても、「学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、持続可能な運営体制が整えられるようにするもの」と記載をされております。

次に、部活動の地域移行に関する、検討会議の提言につきましても、スポーツ庁は、6月6日に、文化庁は8月9日にそれぞれ概要が示されました。その概要によれば、まずは運動部及び文化部とも、休日の活動から段階的に地域移行していくことを基本とし、令和5年度から7年度末を、地域移行に向けた、改革集中期間ととらえ、その後、平日の地域移行は、できるところから進んでいくものであります。中学校の部活動の現状と課題につきましても、まず、平成25年度から令和4年度までの在籍生徒数と令和5年度から10年度までの在籍するであろう生徒数を表とグラフで示したものであります。開校してから10年間は、生徒数が減少傾向ではありますが、ほぼ横ばいの状況であります。しかし、今後5年間では100人減少し、開校後のピーク時より170人減少となり、少子化が進行すると思われる。

次に、平成25年から令和4年度までの部活動の加入状況を表とグラフで示しました。現在の運動部は16部活動、文化部は3部活動です。トレーニング、その他に所属する生徒は部活動にない活動に参加しています。例えば、能登セブンのサッカーや水泳などであります。この棒グラフからは、運動部では陸上や弓道に加入する生徒が多く、文化部では吹奏楽部が多いことがわかります。

次に、運動部、文化部別の加入者数を表とグラフで示しました。運動部、文化部の加入割合は、約8割と2割ぐらいですが、運動部は加入者が減少傾向にあり、文化部はほぼ横ばいの状態です。

最後に、令和4年度の部活動編成の状況であります。顧問や活動場所、コーチ名や指導状況であります。なお、課題につきましても、生徒数の減少により、中能登中学校単独では、団体戦等に出場できないことが考えられます。

次に、段階的な地域移行の取り組みについては、今年の8月に教育委員会内で協議を開始し、9月の終わりに、第1回中能登町地域活動検討会を開催いたしました。その時のメンバーは、中学校から校長、保護者からはPTA会長、スポーツ及び文化協会からは理事長、そして、教育委員会の職員です。この時には、地域移行に向けての現状と課題、そして方向性を短期目標と長期目標に分け、課題については、人材や指導者の対価・補償等が挙げられました。それを受け、10月に教育委員会職員を主体とした庁内プロジェクトチームを設置し、協議を重ねております。

今後の予定として、11月中旬にスポーツ協会への意向調査や生徒及び先生のアンケート調査、そして、第2回中能登町地域活動検討会を開催し、令和5年度から週末の地域移行が可能な部活動の検討を行い、受け皿の原案に基づく協議。12月からは、中学校保護者への地域移行についての説明を実施。令和5年4月からは、準備が整った部活動から、順次、週末の移行を開始していく予定であります。以上、2つの説明について終わります。

○宮下町長

中能登町プロジェクトのコミュニティ・スクールの取り組みについて及び、部活動の地域移行についての説明がありました。

この件について、ご意見を頂戴したいと思っておりますがいかがでしょうか。ご質問ご意見はございませんか。

○成田教育委員

はい。コミュニティ・スクールについてなんですが、本来であれば、委員として教育委員会定例会で、意見を述べるべきところなのかもしれないのですが、その時、資料の読み込みが十分でなかったため、この場でよろしいでしょうか。

コミュニティ・スクールについて各、市町の状況を、前回の定例会でいただいて、読んでいたのですが、やっぱり今回の資料の今後の予定のところにある、地域への周知を図り理解を広げるといところが、すでにコミュニティ・スクールを始めているところでは課題になっているのかなと思いました。それで、始めてないところは、資料を見ていたところ、加賀の方では、何々町というところはどうもまだ始めてない。能登の方では珠洲だけ、今年から始めているようだったんですけど、能登は、市も町もまだ始めてない。

その理由としては、必要性を感じてないというのが一番なのかなと。現段階で進めていく予定はないってはっきり、書いてあった町もあったんですが、ここがコミュニティ・スクールの難しいところなのかと感じました。

そこで意見ですが、別添を見ますと学校からのヒアリングで出てきた3つですが、今回のモデル校で行っていく内容は、(3) イベント活動などというところが、大きいのかなと思うんですが、先ほどの地域にコミュニティ・スクールってどんなものか。それがなぜ必要なかっていうところをしっかりと理解してもらうために、一つ意見として、この(2)の不登校や登校しぶりの児童生徒において、コミュニティ・スクールという形で支援なりフォローをしていく。例えば、学校の一室であったりとか、施設の一室であったりとかを利用して、その拠点というものを明らかにすることで、こういうコミュニティ・スクールができた、今までフォローできてなかった、不登校や登校しぶりの児童生徒においても、新たにフォローしていくというのがわかりやすい。町民にとってわかりやすい。また、必要性を感じやすいのかなと思いますので、(3) プラスアルファとしてさらに中能登町のコミュニティ・スクールとして発信していくために、(2)への取り組みも加えていけることができないかなと感じました。以上です。

○宮下町長

そのほか・・・

○高名参事

意見交換という形で。

○林教育長

はい。成田委員の今の提案につきまして、私も実は不登校の子については、何とか減らしていきたいという考えがありまして、そういった対策もしていきたいというふうに思っております。

その中で学校にちょっと行けない子というのはいろんなタイプがあると思うんですが、例えば学校そのものに行けない。もう一つは、学校には何とかいけるんだけど、教室には入れない。そういった大きなものがあるのかなと。学校へちょっと行けない子については、違った場所の提供。学校以外の場所の提供もあるだろうし、学校に行けるけども教室に入れられない子については例えば、このコミュニティ・スクールで、近くの方、お年寄りとか、ボランティアしてくれる方がそこに来ていただいて、その人と話をすることで居場所を作っていく。そういった居場所づくりということで、コミュニティ・スクールを活用するというのは非常にいいんじゃないかなというふうに思います。学校以外の場所でもその居場所づくりということで、そういった場所を中能登町として、作っていくこともこれから先、うちの町がコミュニティ・スクールを作る必要性ということになっていくのかなというふうに思っております。

○宮下町長

はい。ご意見ありがとうございます。

○堀内教育委員

現在の社会情勢を見てみますと、年々、子どもたちが地域との関わりを持つ、そういう時間がものすごく減ってきていると思うんですね。

少子化で、地域で子ども会も活動できない事例もあります。夏休みのラジオ体操も、みんなで集まってできない。そういう実態があります。昔は、地域の方、中能登には自営業の方が、かなりたくさんおいでまして、地域の子どもの世話をする方も、それから部活動とかそういうお世話をする方もたくさんいたのですが、そういう方がやっぱりみんな高齢化、次の世代はっていうとやっぱりサラリーマン化になって、そういう地域の世話をできない、子どもたちのお世話できない社会情勢になってきていると思います。それで、この地域を知らないまま小学校を卒業してしまって、中学校に入れば部活動でかなり忙しくなるのですが、小学校時代にその地域のいろんなことを蓄え、頭に入れた上でずっと育てて、大学に進んで卒業後、やっぱり、小学校時代に培ったふるさと、地域との関わりというのがずっと頭に残ってるかと思うんですけど、そういう経験や場がないままになってしまう。小学校の統合というのも、やっぱりそれが悪い面で、その影響をおよぼしていると思います。バス通学になりますと、家から乗り合わせのバス停まで個々に歩いていて、さっと乗って帰ってきたらまた、友達と寄り道、よそ道をするのもなく家に帰ってしまうと、そういう避けられない時代、環境的なものがあるかなと思います。そこへさらに輪をかけたのが、コロナであると思います。

今、小学校3年生の子っていうのは、1年生、2年生、3年生とそういう環境の中で育ってきて、どこへも遊びに行くな、みんなと遊ぶなみたいな、そういう環境で育っているんで、そういう中で、地域の力がつくのが弱くなっているっていうことを踏まえて、コミュニティ・スクールの重要性というのがあるのではないかなと思います。

ぜひともこのコミュニティ・スクールに予算をいただいて、町としても、進めていただきたいというふうに思います。私は、以上のことをちょっと強く思っていますので、お話をさせていただきました。

○宮下町長

次に議題3の体育施設の維持管理について担当課から説明をお願いします。

○岩田生学課長

生涯学習課からは、体育施設等の維持管理について説明させていただきます。19ページ、資料3をご覧ください。

こちらは昨年3月に策定をいたしました生涯学習施設の個別計画でありますので、少し名称が違っている施設もありますが、その点はご了承願います。

さて、生涯学習課では、現在、社会教育施設が4施設、社会体育施設が18施設、このほか、図書館や公園、その他施設などで13施設を管理している状況であります。昨年度のこの会議でも案件として提出させていただきましたが、はっきりとした結論が出ておりませんでしたので、再度協議したいと思い、案件といたしました。20ページをお願いいたします。中ほどの、鹿西武道館については、今年度中に廃止の計画で、利用団体と協議を進めておりますが、移転希望先の鹿西体育館が現在コロナワクチンの接種会場となっており、ほとんど使用できない状況となっております。また、来年度以降、今ほどお話もありました中学校の部活動移行の協議が進められており、その関係で、剣道教室のジュニア教室の統合についても、協議を始めたので、もうしばらく、鹿西剣道教室と剣道協会で、このまま鹿西武道館を使用させていただきたいと要望されております。しかしながら、

武道館の建築は昭和50年で、築47年となり、耐震化されておられませんので、教育委員会としましては、子どもたちを含む利用者の安全性を考えると、使用を中止したいという考えもあります。そこで、次年度も、鹿西体育館が使えないので、使用させてよいのか。または取り壊しの予算を5年度に計上してよいのか。また、町として、武道館の別の利用計画案があるのか、伺いたいと思っております。

続きまして、資料21ページをお願いいたします。中段の鳥屋体育館の改修についてであります。こちらは計画では、令和8年度から12年度の間、改修を計画しておりましたが、現在、水銀灯の球切れが多く発生しております。また、この水銀灯は、生産中止となっていることから、LEDの交換が必要となります。足場を組むということも出てきますので、このLEDの交換等合わせて、改修を実施した方がよいと思っておりますので、令和8年からの事業計画ではありますが、令和5年度に前倒しをしたいと考えております。また、スポーツセンター鹿西などの体育館や、運動公園の野球場、鳥屋グラウンド、テニスコート鳥屋などのナイター照明器具の水銀灯の取りかえも、今後順次計画的に行っていかなければならないこととなっておりますので、今後、予算化のほどよろしくをお願いいたします。

次に、資料22ページをお願いいたします。上から2段目のその他施設になります。旧保健センター鹿西についてですが、現在つばさの会が来年1月には撤退する方向であることから、令和4年度中に廃止をしたいと考えております。以前、卓球協会が二階の軽運動室を使用していたことから、生涯学習課で管理をしておりましたが、現在は使用しておりませんので、来年度からは、普通財産として、総務課に維持管理をお願いしたいと思っております。この他の施設につきましても、今後の施設の利用等について、町長部局と協議し、計画的に統廃合等を進めて参りたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。説明は以上です。

○宮下町長

ただ今、生涯学習課から「体育施設の維持管理について」、説明がありました。この件について、意見交換を行います。ご質問、ご意見等はございませんか。

○堀内教育委員

鹿西武道館ですけど去年もちょっと話をしたんですけど、10年以上も前から未耐震の施設で、危険だというふうに言われていて、そのまま来てるんですけどやっぱり、万が一があった時はやっぱり、これまで延ばしに伸ばしてきましたけどやっぱりその責任というのは、考えた時はやっぱり免れるだろうなと思います。剣道、それから、以前は柔道等、協会の方は一生懸命大事にして使ってらっしゃったんですけど、そういう強い思いもあると思いますので、協会の方も、そういう危ない施設ということは頭に当然入っているかなあとと思いますので、その代替施設をきちっと話し合っ理解していただいた上で、廃止の方向が、いいのではないかとというふうに私は思います。

○宮下町長

剣道で何人ぐらい使っているのか。

○岩田生学課長

令和3年度の実績でいきますと、年間で4201名の利用があります。ちなみに鳥屋武道館は1826人。鹿島武道館は6988人の利用となっております。週3回から4回以上練習されておりますので、結構な人数、累計になると思います。4年度はさらに今コロナが少し収束してきましたので練習も増えているのではないかなと思います。

○堀内教育委員

保護者の方が子どもを送ってきては、熱心に練習見てらっしゃる。ただ今、それだけ愛着がある。

○岩田生学課長

鹿西体育館に行きたいと思ったけどほとんどコロナの予防接種で使えないので、それならもうちょっとしばらく使わせてくれんかねって言われるんですけどやっぱり安全性を考えるとっていうのもありまして、ちょっとまだ悩んでいる状況で、町サイドでは、取り壊していいものなのか次に何か計画が立てられるのかっていうのもちょっと、こちらだけで決めていいのかもわからないので、今回、最終的に挙げさせていただきたいと思っております。

○堀内教育委員

耐震化までして存続してくれってそういう話はないですか。

○岩田生学課長

そうですね今そこは町の方針としましてはやっぱり同じ武道館は三つもありますので、そこは統合していきたいと考えておりますので、耐震化までしてすることは、教育委員会の方では考えておりません。

○宮下町長

公共施設等管理計画で除却するとなっているのでやっていかなければならない。例えば剣道教室が統合して一つになってくれれば一番いいと思っているが、その辺について今後、協会と話をして方向性見つけておかないと、管理計画の中でも減らすということになっているので、早急に結論を出さないとダメだと思う。剣道協会やスポーツ協会と話をして、しっかり検討していかないと。

○岩田生学課長

はい。昨年、それで、今年度中に、その場所、移籍先を決めてくださいということで了承終えて、鹿西体育館って言われたんですけども、じゃ、蓋開いたら使えないじゃないかって言われたのでちょっとこっちも困ってるんですよ。コロナの集団接種場所を他にずらしていただけるようになれば、そのままずっていただけるのかなと思ってるんですけども。

先ほど言ったように、部活動の地域移行があつてジュニアの方が合併すれば、多分鹿島の方に行くのかなっていう気持ちはあるんですけども、部活動地域移行はまだジュニア教室まで降りてませんので、今後の話し合いなので、だから、もうしばらく待ってくれっていうのが剣道協会の言い分なので、剣道協会としては鹿西体育館でいいですよとは言ってくれてる状態なんです。ただ使えないので、どうしていいものなのかということとあと本当に、今後、廃止は廃止の方向でいいと思うんですが、その跡地をどうするのかっていうのも、教育委員会で決めて良いのか。利活用をどうするのかっていうのを、町長部局とちょっと相談して方向性をしっかりと決めていきたいなということで、去年も、上げたんですけど、まだはっきりとしなかったもので、再度、しっかりとした方向性をちょっとここで、お互いの意見で決めていきたいなと思っております。

○宮下町長

鹿西小学校が空いとると聞いたが、鹿西小学校に移せばどうか。

○岩田生学課長

はい。鹿西小学校は今現在、バレーボールの女子の方が、毎日ではないですけど週3回、やっておりまして、かぶる日がちょっとあります。そこは協議をしていただかなくちゃいけないのかなと

思いますけども、今、武道館のすぐ横ですので、そこに来れば、ほとんど距離変わらないので、そちらがいいですということでしたので。

○宮下町長

集団接種している間、集団接種がいつまでかかるかわからないが、あと1年かかるか2年かかるかわからないけど、その間、例えば、もう町では除却しますよということになれば、鹿西小学校に行ってもらって、そこで剣道をするようにする。バレーも毎日やってるわけではなく週1、2回ぐらいでしょ？3回ですか？その辺ちょっと一回協会等と話ししてみてください。

○岩田生学課長

はい。だから、もう、来年度も取り壊しますよっていう方針を立てたとすれば、話は持っていきやすいんですけども、まだ置いとくのであれば、使えるでしょって多分剣道協会は言いたいと思うんですよ。でも安全性があるので、その利用計画が本当にあるのかなのかっていうのも、なくても取り壊しにしてしまうという方向で、よろしいのであれば、例えば5年度にもう、撤去というかその取り壊しの予算化をさせていただけるのであれば、上げたいと思ってますし、4年、5年度で廃止ということは取り壊しじゃなくて、あそこを使わないということの意味です。取り壊しではないです。

○堀内教育委員

はい。またこちらの方は剣道協会とまた、鹿西小学校の体育館ということも、検討していただきたいということで、はい、わかりました。

○駒井教育委員

はい。

○宮下町長

はい。どうぞ。

○駒井教育委員

すいません。令和5年度に予定されている金丸体育館の廃止についても、同じかなとは思いますが、今、体操競技の専用の会場として、使わせていただいて、大変ありがたいと思っています。体操競技はちょっと特殊な競技で、機械器具をたくさん使用したり、設置をするのにもちょっと時間がかかったり、ちょっと大変なもので、今、常時設置した状態で置いて、使わせていただいているので、すごく助かっています。これがもし使えないことになってしまうと、またどこか移転先があればいいなとはいつも思ってるんですが、なかなか、結構な場所も必要ですし、現在金丸体育館もですね、本当はもうちょっと広い方が、跳馬の助走路が足りなくてですね、倉庫の中から走り出して、もう向こうの壁ぎりぎりに着地するっていうような使い方をしてます。本当はもうちょっと数メートル助走とるのが普通なんですけど、大きい体育館でどこか空いてるところがあれば、また使いたいなとは思ってたんですが、なかなか、町内にもその空き体育館っていうのがなく、また、今年度に廃止という予定が出ているので、またこの先、剣道さんの次に考えてもらって、一緒に協議させてもらって、できれば存続させていただきたいなと思います。

能登地区には、中能登町と七尾にジュニアのクラブがありますが、続けて競技する選手は、中学高校になると、ほぼいなくなってしまう状態なんですけども、今年中学3年生の子が続けてやりたいていうので、鵬の方に進学したいというふうに言ってます。加賀の方行くと、もう少し競技人口はいるんですが、能登の方でも火を絶やさずに使い続けられたらいいなと思うので、また、どこ

が場所をいただければと思います。
お願いいたします。

○堀内教育委員

はい。今の金丸体育館ですけども、耐震済みなんですよね。耐震済み。

○宮下町長

(金丸体育館は)耐震済みなのか？これ(プレスの補強)がはいつているということ？

○堀内教育委員

はい。耐震化してあるってこと。合併前に、うん。で、金丸地区で唯一のそういう強固な建物かなと思うんです。避難を行政庁舎なり鹿西体育館まではかなり距離もありますし、一時的な、一部の人しか入れませんが、そういう施設として残しといて、ましてや体操協会からも、存続要望があります。そう慌てて壊さなくてもいいのかなど。

○宮下町長

耐震化はもう合併前ということは、旧町の鹿西の時にしたということ？

○堀内教育委員

そうですね。合併直前だったかなと思いますけど。そういう地域に残すっていうために、校舎は取り壊しましたが、体育館は残すと。その当時はまだ区民バレーボール大会とか、まだ、できたかなもう終わるとるかもしれませんが。

○宮下町長

耐震化したものは永久に持つのか？

○堀内教育委員

いや、そう。それは建物の耐用年数。うん。基本的な考え方は、だから耐用年数的にはもうほぼ来てますけど。鹿島小学校の体育館も考え方としては一緒です。はい。

○宮下町長

その他ありますか。それでは無いようですので、次、報告事項1。ギガスクール進捗状況について、担当課から説明をお願いします。

○梅澤学教課長

報告1、ギガスクール推進状況についてということで、まず、環境整備といたしまして、令和3年2月に、生徒用のタブレット端末を1,325台導入しております。今年の9月に、教師用のタブレットを105台導入いたしました。また、令和4年8月中に各種メニューへの個別ログインを統一化するための、シングルサインオン設定を実施するとともに、端末のWi-Fi接続方法の変更を実施いたしました。学校ごとの家庭におけるWi-Fi接続状況は表の通りであります。接続不可の60人の中にはWi-Fi、環境がない家庭が含まれております。あと、改善の状況といたしまして、2校で使用していた1ギガ回線を、各校1ギガに変更して接続しやすくしました。

次に、2番の利活用について、体制は、各学校でICT活用推進リーダー研修会を実施しまして、効果的な活用を目指すことを目標に掲げるとともに、教員スキルアップのためのスキルマップの活

用を数値目標とし、情報モラル教育の充実も含め、年間計画を策定しております。
状況は、授業での利用実践や校内研修会の充実、家庭へ端末を持ち帰らせたりしております。
なお、課題につきましては、先生方のタブレット端末を、授業に活用するスキルの違いが挙げられるかと思えます。ギガスクールの進捗状況については以上であります。

○宮下町長

ただいま担当課から、ギガスクール推進状況についての説明がありました。この件についてご質問ご意見等ございますか。ないようですので、次に報告事項2。町立小中学校におけるいじめ不登校の現状について担当課から説明をお願いします。

○梅澤学教課長

報告2、小中学校におけるいじめ不登校の現状について報告します。
最初に、いじめの認知件数ですが、国及び県の年間調査報告から令和3年度は、小学校10件、中学校24件でした。また、令和4年度4月から9月までの上半期は小学校8件、中学校7件で、小学校は増加傾向、中学校は減少傾向にあります。また、不登校者数は国及び県の年間調査報告から令和3年度は、小学校8名、中学校26名でした。令和4年4月から9月までの上半期は、小学校12名、中学校21名で、小学校及び中学校とも、増加傾向にあります。

次に、いじめ不登校の未然防止、早期発見及び対応の学校の取り組みは、自己有用感や自己肯定感の育成以下、6項目にわたって行っております。

なお、スクールカウンセラーの配置状況は、小学校は週1日の3時間で年間35週の105時間、中学校は週1日の3時間で約41週の125時間で、令和4年4月から9月までの児童生徒保護者、教職員の延べ相談人数は、鹿西小学校が109人、鳥屋小学校は66人、鹿島小学校が62人、中能登中学校が105人でありました。説明は以上になります。

○宮下町長

ただいま担当課から、町立小中学校におけるいじめ不登校の現状についての説明がありました。この件についてご質問ご意見等はございませんか。

ないようですので、次に報告事項3、石川百万石文化祭2023について担当課から説明をお願いします。

○岩田生学課長

はい。資料は26ページをご覧ください。

第38回国民文化祭及び第23回全国障害者芸術文化祭を総称して、石川百万石文化祭2023といたします。会期は、令和5年10月14日から11月26日までの44日間で、石川県内の全市町でイベントや行事が開催される予定であります。開会式、閉会式、目的につきましては資料に記載の通りですので省略させていただきます。

それでは、一番下の段の中能登町の独自事業についてご説明いたします。町では、現在二つの独自事業を計画しております。

1点目は日本最古のおにぎりルーツ展&どぶろくルーツ展であります。こちらの方は別添の資料をご覧くださいと思います。事業概要としましては皆様ご存知の通り、旧鹿西町時代に日本最古のおにぎりの塊、ちまき状炭化米塊が出土したことから、通称おにぎりの炭化米を活用したまちづくりを実施して参りましたが、今回初めて、出土した実物を展示する企画を予定しております。また、町内に3神社がどぶろくの製造を認められていることから、どぶろく特区を取得しました当町では、江戸時代から受け継がれるどぶろくの魅力を町内外に発信したいと考えております。国民文化祭の会期中ふるさと創修館特別展示室にルーツ展を開催するとともに、講演会の開催や、それに合わせて獅子舞の演舞、おにぎり、どぶろくブースを出展する計画であります。事業費とし

ましては、別添資料3ページの方で記載の通り346万円ほどの予定をしております。うち86万円ほどが、県補助金として、実行委員会から入る予定であります。支出の内容の詳細につきましては4ページの通りであります。また、事業内容の詳細につきましては、現在、おにぎり縁結びの会、中能登町スローツーリズム協議会、商工会、JAのとわかばと協議を進めておりまして、引き続き、この積算内容に基づいて細かい協議を進めて参りたいと考えております。

次に、2点目としまして異彩なアート展であります。別添資料5ページをお願いいたします。事業概要としましては、県の国民文化祭のキャッチフレーズの文化絢爛にちなみまして、町内のつばさの会利用者や、県内の障害者アーティストが思い思いに表現されました世界をデザインサンプルとして、町の基幹産業である織物技術などに生かしたアート展を開催するものであります。こちらは令和5年11月5日とありますがちょっと文化祭の関係で、もう少し遅れるかもしれませんが、その日から最終日の11月25日までの間、カルチャーセンター飛翔フレンテ広場にて開催予定であります。事業費としましては、資料の6ページから8ページの通りになりますが、展示作品作成委託料等を含め122万円の予定で、うち77万円の補助が県実行委員会から来る予定であります。事業の詳細につきましては、引き続き石川バリアフリーツアースセンターと協議して進めて参りたいと思っております。現状はこういう感じで進めますので、簡単ですが説明は以上となります。

○宮下町長

はい。石川百万石文化祭2030についてのご意見ございますか。質問等、はい。

○堀内教育委員

おにぎりの方ですけど、何か食べられるそういう場を設けることは考えてらっしゃるのでしょうか。

○岩田生学課長

はい。先ほど少し話と思うんですけど、おにぎりどぶろくのブースを設けるということで、そこで商工会とJAにお願いしましてこれまでのレシピで作ったおにぎりであるとか、もしよければ、全国各地からの有名なおにぎりをちょっと集めていただけないかということで、今交渉はしてるんですけど、はっきりとした回答はいただいておりませんが、そういった内容でおにぎりの販売、どぶろくも、せめて県内のどぶろくが集められないかということで、今、商工会とJAにお願いしている最中でありまして。

○堀内教育委員

はい。今日たまたま朝日新聞見てましたら、東京の大久保で、ものすごい繁盛してるおにぎり屋さんがあって、1時間も列を作って、そのおにぎりを食べたいっていう人がいるっていう。単に作ったものを食べるんじゃなくて、その作ってるのを見てライブ感を味わっておにぎりを食べるという、従来にないようなことを書いてあったんで、そういうのをちょっとまた参考にしてもいいかなというふうに思います。自分が食べるおにぎりを目の前でそういうふうにつけてくれる、いろんな種類のおにぎりのトッピングもあれば、そういうワクワクするような、多分、おにぎりだということじゃないかなというふうに思います。以上です。

○宮下町長

自分で作って？作るオーダーしたら、作ってくれるのということ？そういえば、この前、民宿のお母さんが来て、子どもや大人の人に創作おにぎりを作り、自分たちで食べたりとかするのは保健所の許可とかいるの？ラピアでこの間やっていたのはどこの課？どこの担当？企画課だったかな。能登の塩が6種類準備されており、子どもたちや大人たちも来て、おにぎりを自分たちで作る、食

べるというようなのをやっていた。あれは、企画課がどういう名目でやっていたの？おにぎりフェスタじゃなかったかな？

○高名参事
大学生が・・・

○宮下町長
あっ大学生、金沢大学の学生が企画して、島さんがおにぎりを教えて、それをみんなで習って自分で作って食べるという企画。ああいうのは面白かったと思う。

能登の塩6種類ぐらいあり、それを自分でにぎって食べるっていう。ただ、衛生面とか、そういう許可が必要だと思うが・・・保健所に言えば検便等、いくつかの手続きが必要だと思うが、今、堀内さんが言ったおにぎりの業者さんはこの辺にいるの？例えばお寿司屋さんにお願ひし、酢飯で三角のヤジキタでも作ってくださいって言えば、お寿司屋さんでもできるだろうけど、創作おにぎりになってくると、なかなか難しいのでは？まあ1回、せっかくですからこのあいだ来られた金大の学生さんに、企画課の方から投げかけてもらえばどうかな。あれは確かによかった、たくさん人が来ていたし、皆さんで作って、自分で食べて楽しそうだった。

○岩田生学課長
はい。また、縁むすびの会もいろいろと講演会の準備とかで、講師の企画とか持ってきていらっしゃると思いますので、そういったコーナーも、設けられないかということで提案していきたいと思っておりますので、いい貴重な意見ありがとうございます。

○宮下町長
もう一つ、今、私からこんなこと言っているのかわからないが、異彩なアート展、中能登の繊維を使ってやっているとと思うけど、この間、東京に行ってジャパングリエーションがあったのですが、その中で、中能登町からは「テクシる」という会社というか団体が来ていたけど、その「テクシる」の中には、個々に色々なものを作っている人がいて、聞いたところでは、例えば、金糸瓜の皮の繊維を糸の中に混ぜて繊維を織るとか、その他の野菜、かぼちゃの皮とかを和紙の中に入れて作るというような企業の人いる。だから、そういうように、例えば小さいブースを作って、これは木村織物、丸井織物、テクシる、というように五つぐらいのブース作り当町の繊維のアピールをした方がいいかもしれない。あれはよかったと思う。

かほく市の高松もゴム紐の産地なので、ゴム紐の会社がいっぱいあるわけで、ゴム紐の会社が五つぐらい出ており、高松のゴムひもをアピールしていたけど、このブースを借りるだけで50万円かかるそうです。中能登町としてブースだけ作ってあげれば、商談にはならないと思うが、こういう変わったものを作っているというPRになると思う。44日間通してやったほうが面白いと思う。(国民文化祭)44日間できなかった？国民文化祭でブースを作り、出展者が交代で各自の特徴あるものを出品するのは面白いのじゃないかなと思うので、その辺考えておいてください。他にございませんか。

それでは、次にいきます。それでは報告事項4、文化財事業の進捗について、担当課から説明をお願いします。

○成田生学補佐
すいません。生涯学習課課長補佐の成田志朗です。

文化財関連事業の事業進捗状況の説明をさせていただきます。資料の方は後、追加でお配りした資料をご覧ください。

まず1点目の伊須流岐比古神社、保存修理事業ですが、この建物は昭和42年に県指定有形文化財に指定されております。築後300年以上経過している建物の調査を実施しております。この調査では、建築物の本来の価値を把握し、保存修理方法の確認、保存修理を進めていく方向性を検討するものでございます。事業計画につきましては、本年度も含め、2年間で本殿及び拝殿の事前調査を行い、平成6年度から3年をめどに修理工事を行う予定となっております。現在わかっている今年度の成果といたしましては、大きく分けて二つございます。現在の拝殿はもともと神輿堂という堂であったため、神社背景に、建物の機能を変更する必要がございました。その痕跡を、今回の調査で確認できました実際は図面をつけておりますので、図面の赤と青の線というのが、確認できたものでございます。もう1点は、建物の損傷箇所で壊れている箇所を調べた結果、全体を解体する、改修が必要であるということが確認できたこととございます。この点、2点を踏まえ、来年度は、損傷箇所の詳細な確認を行い、図面に落とし込み、修理方針を検討することとしております。また、今年度は拝殿のみの調査でございましたが、本殿を含めての県指定の文化財でございますので、本年を含めた調査を実施する予定としております。伊須流岐比古神社保存修理事業の概要については以上です。

次に、2点目の伝統的建造物群保存対策事業ですが、現在、調査結果をまとめたパンフレットの方を、11月に対象地区に配布予定です。今のところちょっと1枚目だけですが、事業の説明といったものを、裏の方にもつけたいと考えております。今後、伝統的建造物をどのように活用するか、また、どういった範囲で保存修理を行うかといった基準や補助金の金額または割合を算定する保存活用計画を12月までに策定し、その後、その計画をもとに、順次地区説明を開催する予定です。その後事業の同意を取らせていただいて、その同意を取られた後に国と協議を行い、重要伝統的建造物群保存対策地区に選定いただけるよう、今後手続きを進めていくこととなります。

次に、3点目の2-3と資料蔵についてですが、空き施設の一つとして利用方法、廃止、解体を含めて検討をして参りました。町内の事業所等に利用していただくなど、検討を進めて参りましたが、金丸区の方から、現在の集会所が今の防災グッズ等多数ございますので、その際、避難、災害があった時に避難所としての機能が使えるかどうか、手狭になるので、資料蔵の方を、そのグッズの移転先としてできないかということで、提案を受けました。この提案を踏まえて、施設の売却、もしくは無償貸与等も考えましたけども、耐用年数、解体費用の問題もあることから、金丸地区の地区防災拠点として、施設の管理運営一切お任せするという事で話し合いを進めておりました。施設の運営に関する費用の方は、お出ししていただくこととなりますが、町の方で賃料等をいただくということにはございません。今後、おにぎりの里資料蔵に限らず、生涯学習課において、社会教育施設、体育施設、文化財施設等、多くの施設がありますので、目的が重複する施設、また今後、利用が見込めない施設の利用実態を把握し、施設の利活用について、進めていきたいと考えております。簡単でございますが、説明は以上でございます。

○宮下町長

はい。担当から文化財事業の、進捗についての説明がありましたこの件についてご意見ご質問ありますか。

○堀内教育委員

すいません。伊須流岐比古神社の本殿及び拝殿の修繕工事ですけど、町の単費で調査費をつけて、その準備を着々と進めているわけなんですけど、県の補助の感触はどんなもんですかね。県の補助を当てにして今準備してきたと思うんですけど、なかなか事業費は大きなものになると思うんですけど、もし感触がわかったら教えてください。

○成田生学補佐

それでは担当の坂下の方に直接、話をさせますのでよろしく申し上げます。

○坂下生学学芸員

はい。生涯学習課主事の坂下です。

伊須流岐神社保存修理の事業費の件で、県の補助見込みはどれくらいかということの、ご質問だったと思います。現状は調査の段階でございまして、これから大きな金額になると思うんですけども、県の補助はまだそこまで話が進んでいないというのが現状でございまして。今現状だけお伝えいたしますと、調査を進めて参りまして、なぜ文化財の調査を進めるかといいますと、まず修理に当たるためには、文化財そのものをまず理解しなければならないということが大前提でございまして。下手に修理をして、ものの価値を知らないで終了して、文化財自体の価値を落としてしまうことがないように、今詳細な調査と破損箇所の確認を行っているところでございまして。すいませんが以上となります。

○堀内教育委員

はい。町長さん。

○宮下町長

はいはい。

○堀内教育委員

早く匂わせておかないと、補助金を受けてやりたいんだ、改修をしたいんだということで、ね。今、町長さんは県の史跡整備の会長さんなんでしょう。そういうのをやっぱり有効活用して、今こういうふうにもう金かけて準備してんだから、ということで準備が終わった段階には、ぜひ、県に補助金いただくよう、熱心な、そういう要望とか陳情をやっぱり、しないと、県単の予算だから、なかなか予算づけが厳しい面があるんじゃないかなと思うんで、そういうことでよろしく願います。はい。

○宮下町長

色々これから県とかけ合いながらやっていかなければならいと思っている。今、考えているのは、輪島市でこういう施設を直したという事例があるのですが、それは、財団というか澁谷工業の基金の財団とか、そういうところにもお願いしたりして、修復して行かないと駄目だと思うんですよ。

かなりお金かかると思うので、財団的なものを持っているところをお願いしてやっていかないといけないと思ってるわけです。

あと、補助金等の財源を確認し、半分は補助金、あと残りは財団の基金、もちろん所有者というか氏子の人も負担しないといけないと思う。石動山の祭りの時には皆さんにカンパする募金箱も出ておりますので、ぜひまたよろしく願います。はい。以上です。他にありませんか。

○林教育長

その他でいいですか。

今日は、町長を交えて町長部局との話し合い良かったと思っています。

今回の議題は教育委員会の方から上げた中で、地域との関わりがあるということで、わかってもらえたらよかったと思うし、それから教育部局は予算がありませんので、体育施設の維持管理についても、町長部局と話ができて、予算面の話が出てきたということで、意義があったのかなと思った時に、また町長の方からも、このおにぎりについての提案とか、それから、異彩なアート展とか、そういったことで、いろんな意見の交換ができる場でよかったのかなと思っています。

例えば、教育に対して町の方から、どうなっているんだという、また意見を問い合わせる場面も、この会議であると思いますし、そういった意見交換をこれからも続けていき、共通理解をしていきたいなと思いました。ありがとうございました。

○坂本教育委員

今日はありがとうございます。

私は、先にお話がありましたコミュニティ・スクールについて、一生懸命、今取り組んでいるところでございますが、そこで職員の配置をしていただき、ご理解をいただいているんだなと喜んでおります。

もう随分経ちますが、保護者の方々は核家族化や共働きの中で、とても忙しくしておいでだと思います。子ども会などの団体には所属をしても、それ以外の女性会なり、その他の団体には忙しくて、所属できないというような中で、横の繋がりがすごく希薄になっている。そういう中で、このコミュニティ・スクールというものは、そういう方々を引っ張り出したり、理解していただく上で、とても重要なことだなと思っております。

これを機会に、コロナ禍でもありますが、できるだけ、そういうものをうまく運べるように、今後ともご理解とご支援をいただきたいと思います。まだまだ余力のある年配の方々もおいでだと思いますので、気をつけながらその方々にも、今後ともご協力いただけますように、PTA や町の職員の方々のみならず、全町民の方々にご理解をいただき、ご協力いただけるように今後とも、お手伝いいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

○堀内教育委員

前教育長の袋井教育長は、保小連携ということに力を入れてこられたということで、他の自治体においてもやっぱり、近年、課題、問題を抱える子が増える中で、こういう重要性っていうのが増していると、理解してるみたいですね。

金沢市では、令和3年度の総合教育会議で、やっぱり、小学校と保育園のそういう接続強化を話題にして話し合っております。退任された山野前金沢市長もものすごくそういう面で心配して、金沢に教育プラザ富樫という立派な施設の中で、幼児教育センターをもう設置して、そういう問題に取り組んでいるということを聞きましたんで、袋井教育長の取り組みをまた、林教育長の方と継続していく必要があるというふうに思っております。以上です。

○宮下町長

このほかにございませんか。

○坂本教育委員

余談になるのかもしれませんが、中能登町に今、親子が日曜日遊びに行けるところがどれだけあるかって考えたときに、本当に遊びに行ける場所というのは、屋内外関係なくあまりないと思うのです。

特にこれから冬場になり、土曜日や日曜日、保育園がお休みあつたりするときに、子育てに一生懸命になっているお母さん方はどこへ行って気分転換をしたり、子どもとどういうふうな関わりをしながら遊べるのかなと思ったときに、家の中だけではなく、少し広い屋内の施設などがあつたらありがたいというのが常日頃考えておりますので、また、そういうこともお願いできたら、より子育てにやさしい中能登町になっていくのかなと思いますので、よろしく願い致します。

○宮下町長

ということで、これも含めて、話を進めてもらえればと思います。

○高名参事

はい。今、町長が話したとおりなのですが、現在PFI事業により民間事業者で何かできないかってことで、計画を現在、民間提案を受けている段階であります。なかなか状況的には難しいところもありますが、一つ一つ、一步一步進めていきたいなと思っております。

また、先般、生涯学習課長の方には、私としてもこういった方法があるのではないかとということで、見積書をつけて少し提案の方も流してあります。まずは、それで見える形で何とか動かす形で、まずは着手するのもいいのではないかとということで、少し提案もしてあります。それに向けてどんな補助金が取れるかってことを今少し検討もさせます。本当に子育て施設については、各自治体がちょっと競争状態の状況になっております。そういったことを受けて、実は先ほどのPFIを取り組む職員についても、先般、加賀市のニコニコパークの視察見学をさせました。そういったところも参考事例としながら、中能登町で今、公共施設を利活用した屋外屋内を結びつけるような、そういった整備ができないかなと考えております。

また余談であります。先般町の町立図書館、ラピア鹿島の方でオープンをさせてもらいました。見てみますと本当に親と小さなお子様が、奥の方のスペースで本を読んだり、簡単な遊具で遊んだり、遊具も単に遊ぶだけじゃなくて、きちんとか片付けるまでが、遊びなんですよってことを、図書館の司書の方がしっかりと指導している風景を見まして、本当にほほ笑ましい風景だなと思っております。

まずは、そういった今あるせつかくの図書館ですから、ぜひ皆さんに使って欲しいってもらいたいということでPRをしていただければ非常にありがたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

○宮下町長

それでは本日、予定しておりました議題はすべて終了いたしました。

教育委員の皆様には、大変貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

今後も「教育のまち中能登の実現に向けて」、それぞれの立場でご尽力をいただきますよう、お願いをしたいと思います。今日はどうもありがとうございました。

○高名参事

はい。ありがとうございました。

それでは以上で本日の会議を終了させていただきます。

お疲れ様でした。ありがとうございました。